

平成 28 年度 安全マネジメント

平成 28 年 4 月 1 日
日本交通産業株式会社

1. 基本方針

輸送の安全確保が当社の最大責務であることを社員全員が認識し、社員全員が安全運行を実践すると共に、接客レベルの向上を目指す。

2. 目標

- (1) 事故違反 ゼロ
- (2) 飲酒運転 ゼロ
- (3) クレーム ゼロ

3. 行動計画（施策）

- (1) 点呼の充実
 - ① 事業用自動車安全通信メールの活用
 - ② 過去の具体的事故事例の活用
 - ③ ヒヤリハットシートの活用
 - ④ 点呼時での制服制帽 100%実施（運行管理者は黄色帽子着用）
 - ⑤ 薬の服用状況の把握（眠気を伴う薬・精神安定剤の服用など）
- (2) 事故原因の徹底究明と指導教育の充実
 - ① 現場研修による原因究明と指導
 - ② 事故研修会の実施（各営業所及びグループ合同）
 - ③ 適性診断結果の有効活用・未受診者は受診
 - ④ 外部教材の活用
 - ⑤ ドライブレコーダー映像の活用
- (3) アルコールチェッカー 始業・終業時の 100%実施
- (4) シートベルトの 100%着用とお客様への声掛け
- (5) 乗務員の健康状態の把握と要検査者への声掛けと記録（健康診断 100%実施）
- (6) 新入社員の入社後 3ヶ月・1年後の研修実施
- (7) 日常点検の確実な実施と車内外の清掃の徹底
- (8) 雨天時・薄暮時のヘッドライト早め点灯運動
- (9) 新人乗務員への教育の充実
 - ① 運行管理者同乗研修の拡充
 - ② ドアサービス・傘サービスの研修の継続

4. フォローアップ

- (1) 安全対策会議（グループ合同）を毎月実施
 - ① 施策項目の一覧表・管理表を作成し、毎月の会議で進捗状況を管理する。
 - ② 会議参加者は取締役、運行管理者、指導主任者、その他必要な人員とし、議長は代表取締役とする。
 - ③ 目標が達成されていない場合は新たな取り組みを検討する。

5. その他の取り組み

- (1) 交通安全運動期間中に全社員が着用し安全意識の昂揚を図る。
- (2) 事故発生時に事故状況報告書を掲示して、情報を共有化する。
- (3) 同乗研修による車両特性の理解と危険予知運転の体得
- (4) 夜間・長距離・連続運転を考慮した適正な乗務員配置（過労防止）

以上